

平成26年度 第2回吉井地域審議会における質疑一覧 [平成26年11月21日開催]

2 その他の質疑

事業名	No.	質 疑	回 答
多胡碑記念館と吉井郷土資料館の入館者数と活性化について	1	「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録決定後、多胡碑記念館と吉井郷土資料館の入館者数に変化はあるか。また、世界遺産登録を活用した、吉井郷土資料館や多胡碑記念館の活性化への取り組みについて伺いたい。	9月末までの上半期での入館者数の対比で、多胡碑記念館は前年度3,040人に対し、今年度は3,414人で374人、12.3%の増となっている。吉井郷土資料館は、前年度とほぼ同数の入館者数となっている。 企画展の充実や小中学生の社会科見学の受入れ、ホームページや広報誌による情報発信などにより歴史、文化の学習の場として広く活用されるように努めていきたい。
吉井郷土資料館について	1	郷土資料館の建物の雰囲気は、外観は良いが、中は随分と老築化している。 少しでも明るい雰囲気や、展示が見やすいような工夫ができるように内部を改築、改装をしていただければありがたい。	【要望】
多胡碑のPRについて	1	多胡碑の外部への宣伝、PRをどのように行っていくのか。	上野三碑の世界記憶遺産登録の運動が始まったことから、ここ1年間は、特に力を入れて取り組みたい。 多胡碑記念館での企画展、各種見学やインターネット等の新しい手法を駆使して、広く働きかけていきたい。
吉井中央公園(仮称)の早期の整備について	1	吉井中央公園(仮称)整備事業については、防災機能を備えた総合的な公園であり、吉井地域住民として、非常に期待している。平成27年度から用地買収に入るようであるが、吉井地域として最重要課題だと思っているので、1年でも早く整備事業が完成するようお願いしたい。	【要望】

事業名	No.	質 疑	回 答
支所東庁舎の活用について	1	吉井支所東庁舎は、現在利用されていないと聞いている。今後の利用計画があれば伺いたい。	東庁舎は、昭和49年に建築され、40年程経過している。本格的に別の用途とするには耐震面等の問題があり困難である。そのため現在、利用計画はないが、今後、具体的に必要とされるケースがあれば考えていきたい。 現在、新たな本格的活用は考えていない。
吉井地域の開発について	1	合併当時、吉井地域には、上信越自動車道のインターチェンジもあり、高崎の南玄関口として、その周辺の開発事業、アクセス道路の実現に向けて地域住民は期待をしていた。現在の状況を伺いたい。	吉井地域には1万坪、5千坪の単発の企業用地はあるが、形の整った大規模な産業団地には向いていない。首都圏から近く、吉井インターチェンジもあり、非常に条件の良い土地であることから知恵を絞る工夫をしていきたい。
旧多胡農協「赤レンガの繭倉庫」について	1	多胡地区にある、JA所有の「赤レンガ繭倉庫」について文化財として活用策があるか伺いたい。	JA所有の赤レンガ倉庫は、以前、県の近代化遺産総合調査で歴史的価値等について調査されているが、文化財指定には至っていない。 今後は、所有者の意向、要望等を確認したうえで、市の文化財指定になるかどうか検討していきたい。
上野三碑の世界記憶遺産登録に向けた取り組みについて	1	上野三碑の世界記憶遺産登録に向けた市の取り組みについて、これまでの状況と今後の施策を伺いたい。	上野三碑の世界記憶遺産登録については、県が平成24年9月に研究会を設置し、歴史的価値や登録の可能性について調査研究を始め、本市も参加してきた。さらに登録に向け気運を盛り上げるため、11月に「推進協議会」が設立された。 今後も県と共同して登録に向け上野三碑の世界的な価値の研究を行うとともに、一般公開などにより知名度の向上を図っていきたい。

事業名	No.	質 疑	回 答
公民館の設置について	1	<p>吉井地域には、公民館が1館あるが、旧高崎市では、各小学校区に一つ公民館があると伺った。</p> <p>吉井地域にも早期に小学校区ごとに公民館を設置していただけるようお願いしたい。</p>	<p>合併地域では、地域ごとに様々な経緯があり合併時の公民館の規模や機能もそれぞれ異なる。地域での必要性、建替えの時点での地域の実情を勘案して考えていきたい。</p>